

氏名	木 曾 尊 彦
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3729号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Enhanced expression of decay-accelerating factor and CD59/homologous restriction factor 20 in intestinal metaplasia, gastric adenomas and intestinal-type gastric carcinomas but not in diffuse-type carcinomas (腸上皮化生, 胃腺腫, intestinal-type胃癌におけるdecay-accelerating factorおよびCD-59/homologous restriction factor20の発現増強とdiffuse-type胃癌での発現低下についての検討)
論文審査委員	教授 田中 紀章 教授 岡田 茂 教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

ヒト正常胃粘膜、腸上皮化生、胃腺腫、胃癌における decay-accelerating factor(DAF), CD59/homologous restriction factor(HRF20)、membrane cofactor protein(MCP)の補体制御タンパクを免疫組織学的に検討した。内視鏡下生検と手術標本より得た胃組織を DAF、CD59/HRF20、MCP のマウスモノクローナル抗体を用いて染色した。正常胃粘膜では、MCP は上皮細胞の basolateral 面にびまん性に染色されたが、DAF や CD59/HRF20 の発現は認めなかった。腸上皮化生、胃腺腫、intestinal-type 胃癌では、DAF や HRF20 は apical 面に強く発現していたが、MCP は basolateral 面に局在した。Diffuse-type 胃癌では、DAF、CD59/HRF20 の発現は認めなかったが、MCP は腫瘍細胞表面に局在していた。MCP は正常胃粘膜や腫瘍胃粘膜での補体活性制御に主要な役割を果たしていることが示唆された。また、補体制御タンパクの発現パターンは胃癌の種類に強く関連していることが示された。

論文審査結果の要旨

本研究は、ヒト正常胃粘膜、腸上皮化生、胃腺腫、胃癌における decay-accelerating factor(DAF), CD59/homologous restriction factor(HRF20), membrane cofactor protein(MCP)の補体制御タンパクを免疫組織学的に検討したものである。

正常胃粘膜では、MCP は上皮細胞の basolateral 面に染色されたが、DAF や CD59/HRF20 の発現は認めなかった。腸上皮化生、胃腺腫、intestinal-type 胃癌では、DAF や HRF20 は apical 面に強く発現していたが、diffuse-type 胃癌では、その発現は認められず、補体制御タンパクの発現パターンは胃癌の種類に強く関連していることが示された。

本研究は、胃癌の臨床的、病理的診断に有用な知見を与えるもので、よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。